

広報あつけし 読者インタビュー

小野 繁子 さん

生まれも育ちも厚岸で、現在83歳。趣味は民謡で、広報クイズに毎月応募しています。



情報BOXのページ内に『広報クイズ』がありますよ



毎月の広報クイズが楽しみです

毎月広報が届くと隅々まで目を通しています。

特に、広報クイズは忘れなければ毎月応募していて、クイズを間違えないよう、出題されたページはくまなく見えています。「当たりますように！」と願いながら、ポストにはがきを投函しています。

また、行事の開催情報を「参加してみたいな～」と思いながら見えています。コロナ渦であまり開催できない状況かと思いますが、これから少しずつ行事が増えてくれたら嬉しいですね。

いつも楽しく見えています。これからもいろんな情報を町民に伝えてもらいたいと思います。頑張ってください！

誰か写っているかなと欠かさず見えています

毎月、『ズームアップ』にどのような内容で、どのような人が写っているのか、見るのを楽しみにしています。子どもたちも気になるみたいで、順番に見ています。

また、『情報BOX』も欠かさず見えていて、子どもたちと参加できるものがないか、広報から情報を得ています。

育児をしている中で、学校で子どもたちがどう過ごしているのか見えにくいと感じています。教育関係や育児関係のコーナーがあったら、子育て世代により魅力的なものになるのではないかなと思います。

広報あつけし900号おめでとうございます！取材は大変かと思いますが、体に気をつけて頑張ってください。

井出 真由美 さん（写真右上）

夫と、4人の娘と6人暮らし。町のイベントなどに、親子で積極的に参加しています。



長島 悟 さん

2年前に厚岸町へ移住し、現在、妻と8カ月の息子と3人暮らし。JA釧路太田農業協同組合に勤務しています。



スマートフォンから広報を見ることができます

ホームページで広報を読んでいます

役場で広報を読んだりしますが、ホームページでカラー版の広報を見ることができるので、活用しています。

息子が生まれてから子育て関係の情報が気になり、特に『わが家のホープ』は必ずチェックし、「息子と同級生になるのかな～」と思いながら見えています。

また、移住し知り合いも少ない中で、『人』を紹介しているページは特に気になるし、人と繋がれるような交流の場などの情報があれば、参加してみたいと思います。

広報あつけしはとても見やすく、毎月労力を惜しまずこれだけのものを作り上げるのがすごい！広報は『厚岸の顔』だと思うので、これからも頑張ってください。

広報あつけし おかげさまで

900号

広報あつけしが記念すべき900号を迎えました。

昭和26年10月15日に発行を始めてから70年と8カ月、誌面の内容もその時々で大きく変化し、900回の発行までに多くの町民の皆さんと広報担当者が共に携わってきました。

広報誌は町民の皆さんと町を結ぶ懸け橋であるとともに、厚岸町の歩みを記した貴重な資料でもあります。

これからも皆さんのご協力をいただきながら、親しまれる『広報あつけし』づくりに努めていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



『広報あつけし』900号の発行を迎えて

厚岸町長 若 狹 靖

『広報あつけし』は、昭和26年10月15日に創刊し70年目を迎え、町民の皆さんからの情報提供や取材協力に支えられ、今月号で記念すべき900号を迎えることができました。

情報伝達手段が多様化した現在、町でもホームページやSNSなどにより情報を発信しておりますが、『広報あつけし』はこれまで、町と町民の皆さんをつなぐパイプ役として、皆さんの最も身近な情報源を目標に、町などからのお知らせや町内でのイベントなど、暮らしに密着した情報をお届けしてまいりました。

『広報あつけし』はこれからも、より皆さんのお役に立てるよう、親しみやすく、読みやすく、伝わりやすい魅力的な紙面づくりを目指し努力してまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。